

理事長メッセージ

福岡大学を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。長年の研鑽が実り、めでたく卒業式を迎えられ、感慨無量のものがあると思います。また、これまでご子女の成長を支え、見守ってこられたご家族の皆様方も、さぞお喜びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

この度、新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、卒業式が中止となり、誠に遺憾に思います。

さて、「令和」という新たな元号に変わり、まもなく1年が経とうとしています。令和は日本に現存する最古の和歌集である万葉集からの出典となっています。政府からは、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いが込められていることが発表されました。希望に満ち溢れた新しい時代を切り拓いていくことが期待されています。

これまでの平成の時代は、「失われた20年」と言われるように、日本の経済力の相対的な低下に歯止めがかからず、これに対処するため、産学官が総力を上げてビッグデータとAIを駆使した技術革新や、経済的に即効性のあるインバウンドの促進に取り組んでいるところでもあります。

しかしながら、今、日本のみならず世界は新型コロナウイルスという大きな課題に直面しております。この感染拡大を防ぐため、世界は大きな犠牲を払っており、これが今後、グローバル化が進んだ日本の経済社会に大きな影響を与えることが危惧されています。

このように、一寸先が予測できない時代だからこそ、皆さんには福岡大学で培った多様な知性と豊かな人間性で迫りくる難題に立ち向かい、より良き日本の創造に尽力していただかねばなりません。どのような世の中を目指すべきかを常々考え、しっかりとした目標を持って人生を歩んでください。

本学は、昨年、創立八十五周年という節目を迎えました。多くの先輩達が日本国内にとどまらず、世界においても活躍しています。皆さんもそのような先輩達に加わり、未来を切り拓いてください。皆さんのフレッシュな活力と先輩方の豊富な経験をもとに、力を合わせて危機をチャンスに変え、「令和」を希望に溢れる時代にしていただきたいと思います。

本学は、皆さんの母校として未永く誇りに思っていただけのように、総合大学の社会的使命である教育、研究、医療そして社会貢献において一層の充実に努め、さらなる改善、改革を進めてまいります。

最後に、皆さんのご健闘と実り多き人生を心より祈念いたしまして、新たな門出への饞の言葉といたします。

ご卒業、誠におめでとうございます。

令和2年3月19日
学校法人福岡大学 理事長 貫 正義